

30年度大岡小学校 5年1組 クラスの学びを発信します！

「大岡っ子の動物園」づくり ～動物とふれあえる飼育小屋にしよう～

学校のウズラが飼育小屋に戻せなくなっていることを知った子ども達は、すぐに飼育小屋の様子を見に行きました。小屋の周りは雑草でいっぱい、飼育小屋の道具や餌の袋でちらかっています。屋根はこわれているし、地面にも穴があいています。中にいる動物も、なんだか元気がなさそう。「どうして、今まで気付かなかったのだろう。」クラスで話し合いました。「3年生くらいまでは行っていただけ、だんだん友達と遊ぶのが楽しくなって。」「新しく動物が入ってくると盛り上がるけれど、前からいたのには、興味がなくなってきて」と、自分たちが動物の存在を忘れていたところに気が付きました。飼育小屋に人が集まるようにして、動物のことを知ってもらおうと話し合いました。



ウズラ、ウサギ、ニワトリと動物ごとにグループに分かれて活動開始です。それぞれの動物にどんな課題があるのか、何をしてあげられるのか、調べてきたことを持ち寄って話し合い、できることから活動を始めました。「飼育小屋のまわりも掃除しようよ。」という声に、クラスみんなが同意し、草むしりをしたり、たまった土を取り除いたりしました。「ベンチがあるけど、色がはがれているね。」「綺麗に塗り直したら、みんなここに来るかもしれないよ。」「動物が自由に動き回れる広場を作りたいな。」飼育小屋に人を集めるためのアイデアが聞こえてきます。夏休みが明けると、いよいよ、人を呼ぶ活動を考えます。もっと動物となかよくなれるようにと、夏休みも、動物の世話に取り組んでいます。

